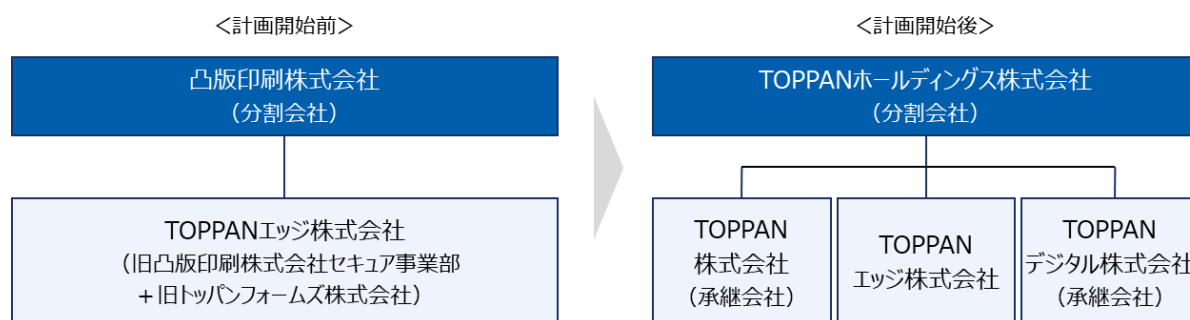


凸版印刷株式会社の「事業再編計画」のポイント

凸版印刷株式会社は、令和5年10月に予定している持株会社体制への移行に伴う組織再編において、グループ全体のDX事業を推進していく会社として「TOPPANデジタル」を設立し、持株会社の傘下に当社の主要部門を会社分割の方法により設立した「TOPPAN」、当社のセキュア事業部とトッパン・フォームズの事業を統合させた「TOPPANエッジ」と共に中核3社として配置する。そして、「TOPPANデジタル」を中心に策定した戦略やサービスモデルを、「TOPPAN」、「TOPPANエッジ」等の顧客ネットワークを活用することで事業展開を図り、グループ全体としてDX事業の推進により、企業価値の更なる向上を目指す。

※凸版印刷株式会社は、令和5年10月1日付で「TOPPANホールディングス株式会社」に商号変更予定。



【生産性の向上】

- ・令和7年度には、令和4年度と比較して、修正ROICを3.3%ポイント向上させる。

【財務の健全性】

- ・有利子負債／キャッシュフロー 10倍以内
- ・経常収支比率 100%以上

【前向きな取り組み】

- ・計画最終年度(令和7年度)において、DX事業における売上高を当社の全売上高の27.6%以上とする。

【計画の実施期間】

- ・令和5年10月～令和8年3月

【希望する支援】

- ・認定事業再編計画等に基づき行う登記の税率の軽減
- ・会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減